

# 15 . 弓道競技実施要項

1 主催 大分県高等学校体育連盟 大分県教育委員会

期 日	時 間	適 用
7月19日(日) 男子の部	8 : 30 ~	監督会議
	9 : 25 ~	優勝杯返還
	9 : 30 ~ 13 : 30	団体予選2立(椅子なし立射)
	13 : 30 ~ 14 : 00	個人決勝戦(5位まで決定)
	14 : 00 ~ 15 : 30	団体決勝トーナメント(3位まで決定)
	15 : 30 ~	表彰式
7月20日(月) 女子の部	8 : 30 ~	監督会議
	9 : 25 ~	優勝杯返還
	9 : 30 ~ 13 : 30	団体予選2立(椅子なし立射)
	13 : 30 ~ 14 : 00	個人決勝戦(5位まで決定)
	14 : 00 ~ 15 : 30	団体決勝トーナメント(3位まで決定)
	15 : 30 ~	表彰式

3 場 所 大洲総合運動公園弓道場(大分市青葉町) TEL 097-551-2110

※監督会議は同会場の射場で行う。

4 競技規則 全国高等学校体育連盟弓道競技規則及び(公財)全日本弓道連盟競技規則による。

5 競技方法 (1) 種別は、①近的・立射 ②男女別 ③団体競技・個人競技 とする。

(2) 団体予選について

ア. 4矢2立(各8射・チーム合計40射)を椅子なしの立射で行う。

イ. 2チーム同時に行射(チームは順立ち)する。

ウ. 総的中数上位8チームを予選通過とする。同中のため8チームを超えるときは、各自1本ずつの競射により8チームにしぼる。競射の選手は予選2立目のメンバーとする。

エ. 1チームの行射時間は6分以内とし、それ以降離れた矢は失格とする。

( 行射時間=「始め」の合図から最後の射手の「離れ」まで )なお、弦切れの場合は跪坐して待ち以後の射手は替弦を待たずに順次行射する。一巡したら順立ちに戻る。

オ. 制限時間はブザーにより、次の要領で合図する《30秒前(5分30秒)…短く 終了(6分)…長

(3) 決勝トーナメントについて

ア. トーナメント方式で各自4射・チーム計20射を行う。

イ. 予選の中数により1位~8位を決定する。なお、抽選は行わず、同中の場合はプログラム記載順とする。対戦順1回戦4試合は、次の通りとする。

**1位対8位、5位対4位、3位対6位、7位対2位**

ウ. 対戦するチームが同時に行射(チームは順立ち)する。射終わったら本座に戻り立ったまま待機、判定の発声の後に退場する。同中の場合は、各自1本ずつの競射を行い、勝敗を決定する。競射1本目は替矢を使用する。

エ. 決勝戦の前に、1手競射による3位決定戦を行う。

(4) 個人戦について

ア. 団体予選における8射(4矢2立)の的中数により決定する。交代により8射しなかった選手は対象としない。優勝決定は射詰め、ただし、9射目より八寸的を使用する。他の順位決定戦は、遠近法で実施する。

イ. 団体戦に人数不足で参加できない学校は、個人として出場できる。

6 参加資格 「第68回大分県高等学校総合体育大会実施要項」の参加資格に準ずる。大分県高等学校体育連盟の発行する「参加同意書」により参加の意思を表明した者。

7 参加制限 (1) 団体戦

ア. 1校男女とも1チームとする。(選手3名以上を団体扱いとする。)

イ. チーム編成は、監督1名・選手3名~5名、補欠2名の計4~8名とする。

ウ. 選手の交代については、登録された補欠との交代のみを認め、交代した選手は以後補欠とみなす。1回の交代で、補欠2名を同時に交代することができる。予選については、監督会議前に1回、試合中に1回交代できる。決勝トーナメントについては、試合ごとリセットする。ただし、立順の入れ替わりはできない。

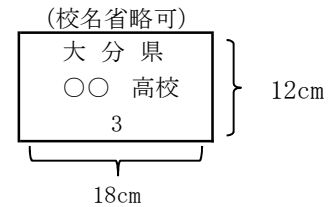
(2) 個人戦

団体予選で2立とも出場し8射した者及び、個人として出場し8射した者が該当する。

- 8 参加申込 (1) No15 様式により作成し、2部印刷・捺印して、1部を高体連事務局、1部を弓道競技専門委員長へ郵送すること。なお、承認を得た申込電子データは、期限内に弓道競技専門部事務局にメールまたは庁内連絡で送信すること。
- (2) 本人及び保護者の参加同意書を、参加申込書と同封の上、弓道競技専門委員長へ郵送すること。
- (3) 前回申込時より変更がある場合は、変更後の電子データを弓道競技専門委員長へ送信すること。
- (4) 申込期日 令和2年7月16日(木)
- (5) 申込先 専門委員長 中津南高等学校 河上 渉  
メールアドレス [kawakami-wataru@oen.ed.jp](mailto:kawakami-wataru@oen.ed.jp)
- ※ (1)(2)については前回申込時に完了

- 9 組合抽選 第1回専門委員会 令和2年7月7日(火) 10時～ 大分商業高等学校
- ※ 荒天により実施せず。専門部長立会いのもと専門委員長が抽選。

- 10 連絡事項 (1) 服装は、弓道着又はユニフォーム(肩線のない白シャツ、校服のズボン・スカート白靴下)とする。
- (2) 鉢巻きを使用する場合は、無地(派手でないもの)とする。
- (3) 弓具・服装の点検を行い、違反選手には行射させない。
- (4) 頭髪にリボンを着用することは禁止する。
- (5) ゼッケンは、右腰前に付けること。布地は白で、県名と学校名は黒、番号は男子が黒、女子は赤で記入する。なお、サイズは全国大会の形にできるだけ合わせること。
- (6) 呼び出しに絶えず気を配り、点検に遅れる等して、第一控「起立」の号令に間に合わなかった者は失格である。
- (7) 選手は大会競技規則を熟知し、違反のないように競技に臨むこと。
- ア. 甲矢を射る時、乙矢を取り矢すること。
- イ. 矢番え動作後、管から弦が離れた場合「管こぼれ」となり、その矢は失格である。
- ウ. 監督は道場内の選手に、発声又は動作で合図やアドバイスをしてはならない。選手も同様。
- (8) 事故防止に最善を尽くさなくてはならない。そのため指示された危険区域(矢取り道・看的所横・巻き藁練習場)には立ち入らない。応援の者も競技運営に整然とした態度で臨む等協力すること。
- (9) 優勝旗返還は、試合開始前に射場で該当校のみで行う。
- (10) 立順は、専門委員会において抽選基準に基づいて厳正に抽選する。
- (11) 当日の的前練習はできない。



## 感染症等の対策に関する留意事項について

弓道競技専門部

## 1 全競技共通事項

- (1) 生徒の参加については、参加同意書を提出すること。
- (2) 気温が高い中での大会であること及び運動不足が考えられるため、突発的な傷病等に十分留意すること。  
熱中症予防のため、こまめな水分補給をすること。
- (3) 生徒に発熱など風邪の症状が見られる時は参加を見合わせ、自宅で休養させること。
- (4) 会場内に入る生徒(競技中以外)・競技役員・補助員・引率者・観客等は、必ずマスクを装着すること。ただし、熱中症予防の観点で、屋外で人と十分な距離(2m以上)を確保できる場合はマスクを外すこと。また、屋内でも息苦しさを感じた時は、換気や人と十分な距離を保つなどの配慮をした上でマスクを外すこと。
- (5) 会場の各所に液体石鹸や手指消毒用液を備えているので、こまめな手洗いや消毒をすること。
- (6) 同チーム内での飲料水等の回し飲みやタオルやコップ等の共用はしないこと。
- (7) 競技に使用する共用の用具(ボール等)については、専門部で消毒を行うが、チーム内の用具は各指導者が責任をもって消毒すること。
- (8) 競技会場内では、競技専門部(係員)の指示や誘導に従うこと。
- (9) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、競技専門部及び県高体連事務局に対して速やかに報告すること。

## 2 弓道競技における3密(密閉、密接、密集)の回避対策

## 【大会本部】

- ・本大会は無観客とする。選手でない1・2生の部員、引率者以外の教職員・保護者・卒業生等の観戦・応援は認めない。
- ・会場内で人との接触を減らすために、選手、役員、観客等を導線で区分する。
- ・主催者で消毒液を用意し、会場内に設置する。(別紙会場レイアウト)
- ・会場内のトイレに液体せっけん消毒液を設置する。
- ・試合前、試合後に全顧問で消毒作業を行う。
- ・競技中以外はマスクを着用し、射場に入場する直前にマスクを外す。介添えはマスク着用。
- ・更衣室と控室は、使用を禁止する。
- ・握手やハイタッチなどの身体接触は禁止する。
- ・大きな声で会話、応援等を禁止する。
- ・競技役員、補助員等の座席は、できるだけ2mの距離を確保する。
- ・飲料水は、コップなどで共有せず、個人で準備する。
- ・ゴミは、各学校・個人で持ち帰る。

### 《 試合運営 》

- ・時間短縮のため、開会式・閉会式は行わず、優勝旗返還・表彰式のみとする。
- ・第2控えは、弓道場正面玄関外側（別紙会場レイアウト）とし、直前の試合終了後、速やかに射場に入場する。
- ・第2控えで、目視による弓具の点検をする。（道具への接触はしない）
- ・射場記録、的前の補助員は置かない。
- ・射場記録、矢取・看的はすべて教員で行い、選手は矢返所で自分の矢を自分で拭く。
- ・的前審判の教員を第1射場・第2射場とも3名とし、的中ボード置きと矢取りをする。

### 《 参加者 》

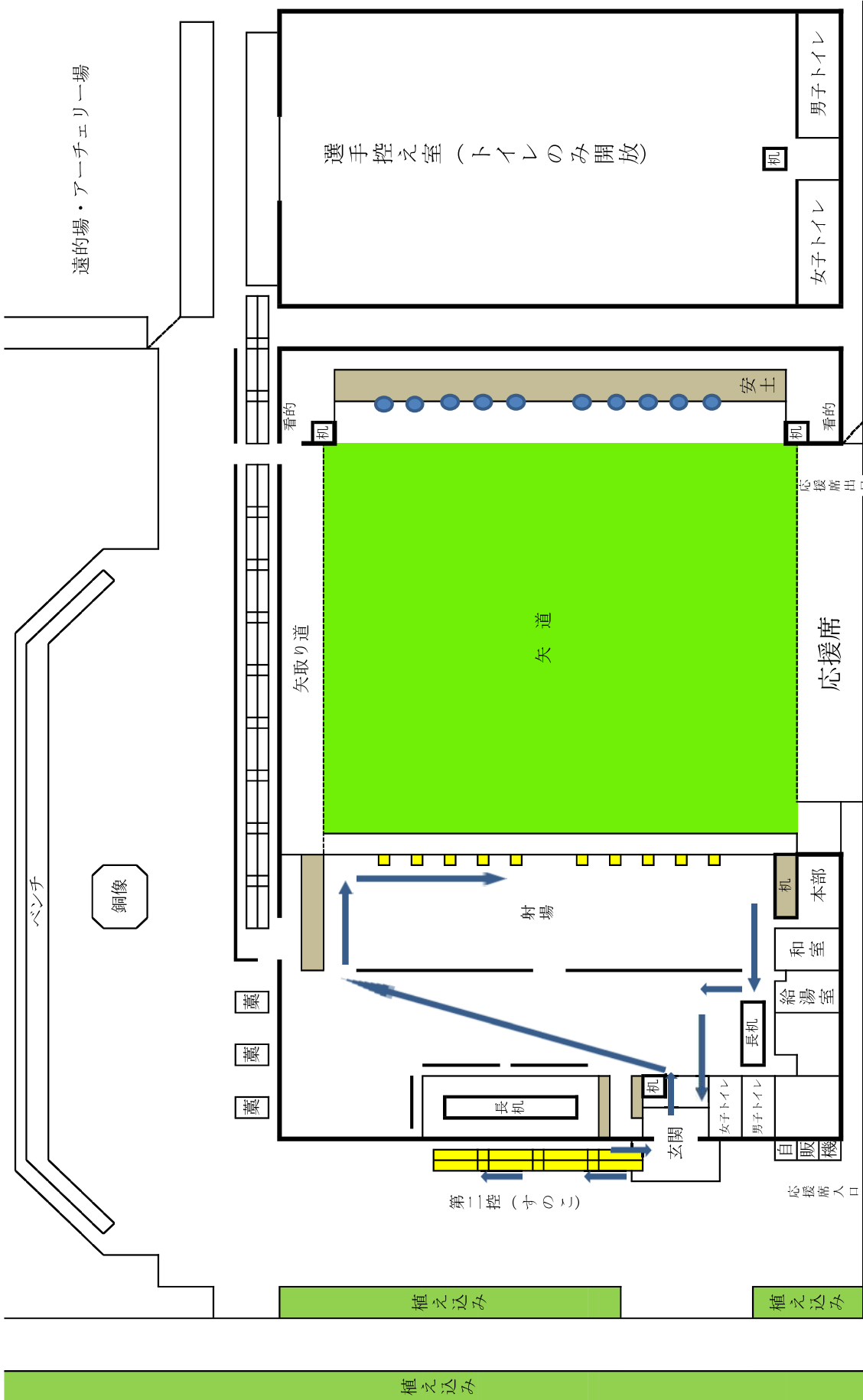
- ・各校選手7名と3年生部員のみ参加ができる。選手でない1・2生の部員、引率者以外の教職員・保護者・卒業生等の観戦・応援は認めないこととする。
- ・試合当日の朝、試合会場で検温を行い、37.5℃以上の熱のある選手・監督は参加不可とする。
- ・発声による応援は禁止とする。
- ・競技中以外はマスクを着用し、射場に入場する直前にマスクを外す。介添えはマスク着用する。
- ・選手は各自、自分の弓・矢・弾を使用し、他の選手の使用したものに一切触れないようにする。
- ・選手は各自、矢を拭くための雑巾を持参し、他人の物を使用しない。

### 《 その他感染防止対策 》

- ・控え所は使用せず、選手は弓道場外で各校は離れて待機する。雨天時はテント等を使用し、屋外で待機する。
- ・射位は、1.8m間隔とする。（通常の試合は1.5m間隔）
- ・試合中、選手への発声は禁止とする（競技規則）。
- ・道場は、前方向が開放されており、換気ができている。加えて、窓はすべて開ける。
- ・試合会場での椅子（選手の第一控、第二控）を使用しない。
- ・試合前、試合後に全顧問で消毒作業を行う。

### 《 試合時間について 》

- ・5人立の行射制限時間を従来よりも30秒早め、6分とする。
- ・4矢1立、制限時間6分+矢取り1分30秒=7分30秒
- ・7分30秒×06立×2立=240分=4時間
- ・個人戦は、5位までの決定であるため、30分で試合可能。
- ・団体決勝トーナメント戦は、制限時間（競技時間）6分秒+矢取り30秒。競射の場合は、8分×8試合=64分（3位決定戦も含める。）準決勝及び3位決定戦・決勝戦前に、水分補給と矢返しを考慮し10分程度の休憩をとると、84分。



- ・上図の矢印は試合における選手の動線。
- ・各「机」（長机含む）の上に手指消毒用のアルコールを置く。
- ・矢取の際には係の顧問が使い捨て手袋をはめて毎回入る。回収した矢は各選手が自分のものだけを持参のタオルなどで拭く。
- ・大会中に選手や顧問が触れるであろう箇所について、試合前、試合後に全顧問で消毒を行う。
- ・トイレは道場内、外、選手控え室の3箇所を使用。それぞれにハンドソープを用意する。看的（矢取）にもハンドソープを用意。
- ・係で使用するインカムは係員交代時にアルコールで拭き上げる。
- ・優勝旗返還、表彰式など、選手に直接手渡しするものについては、手袋をして対応する。